ネットワークミニドームカメラ 設置ガイド

付属品

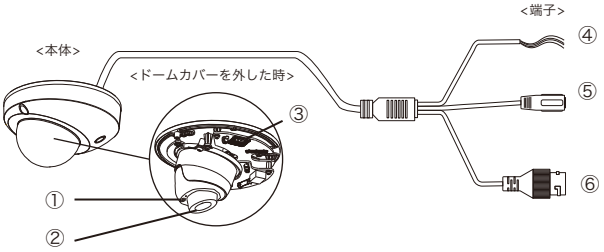
- □ カメラ本体×1
- □ 防水パーツセット×1
- □ ネジ・アンカーセット×1
- □ 専用レンチ×1
- □ 設置位置シール×1
- ☑ 設置ガイド（本紙）×1

※付属品が全て揃っているかご確認ください。

施工業者の方へ

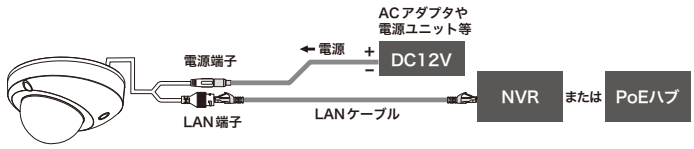
施工の際に、注意・遵守いただきたい事項を本紙に記載しております。
必ずお読みの上、適切な設置・施工をお願い致します。
設置に際し電源工事等を行う場合は法令遵守の上、有資格者の方が作業を行ってください。

各部名称



① 赤外線LED
② カメラレンズ
③ microSDカードスロット
※SDカードの使用は任意ですがレコーダーの使用を推奨いたします。
④ AUDIO線（先バラ）
⑤ 電源端子（DC12V）
⑥ LAN端子
※入出力端子は機種によって端子形状が異なる場合があります。

電源供給方法（配線例）



施工時の注意事項

- 設置の際は設置面（壁面・天井）の素材や強度を確認の上、落下や脱落が起きないように設置してください。付属のネジが設置面に適さない材質の場合はお手数ですが壁材に適した市販品をご利用ください。
- 不安定な場所や劣化が激しい場所には取り付けしないでください。
- 屋外設置の場合は強風などの天候の影響も考慮し、設置場所を決めてください。
- 本体カバーや向き調整をする際のネジの締付けには強い負荷のかかる機器（インパクトドライバーなど）は使用しないでください。故障や破損の原因となります。
- 設置の際、過度なケーブルの屈曲に注意してください。接触不良の原因となります。
- ケーブルは張り過ぎず適度な緩みを残してください。ケーブルが張り過ぎていると衝撃や振動などで接触不良や機器やケーブルを破損する可能性があります。
- ケーブルのコネクタ部が水濡れする可能性がある場合には、防水テープなどで保護してください。
- 本機への電力供給は推奨されたPoE機器（NVRまたはスイッチ）または定格に沿った電源を使用してください。定格と異なる電源を使用すると故障の原因となります。
- 定格電源を利用する場合は電源とカメラの間のケーブルはできるだけ短くしてください。電源ケーブルが長すぎると、電圧が下がり動作異常の原因となります。電源ケーブルを長くする必要がある場合は、一次側（AC100V）を長くしカメラ付近で電源を取るようにしてください。一次側の工事を行う場合は法令遵守の上、有資格者の方が行ってください。
- レンズカバーの傷つきを防止するため、保護フィルムは設置が完了してから剥がしてください。
- 故障の疑いがある場合は、電源供給を停止し販売店にお問い合わせください。
- 分解や改造などは行わないでください。分解・改造などの行為により生じたトラブルについて、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を清掃する際に有機溶剤（ベンジンやアルコールなど）は使用しないでください。

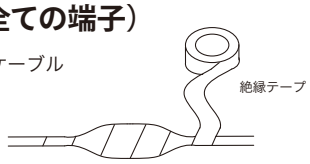
販売元
TBT JAPAN 株式会社　〒123-0864 東京都足立区鹿浜8-9-19　https://tbtj.jp

端子の防水・絶縁

カメラのコネクタ部は埃の多い場所、水濡れの可能性がある場所では絶縁及び防水対策を行ってください。使用しない端子も対策を行ってください。

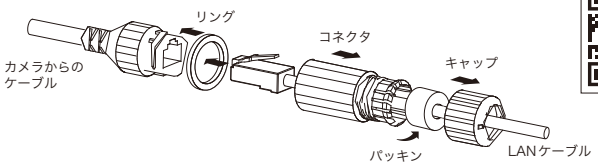
防水・絶縁テープを巻く（全ての端子）

市販の防水また絶縁テープを巻いて各ケーブルの接続部を保護してください。



防水コネクタを使用する（LAN端子のみ）

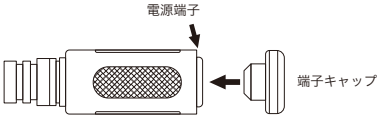
1. カメラ側のLAN端子に「リング」をセットします。
2. キャップ、コネクタ、パッキンをLANケーブルに通します。
3. LANケーブルを接続しカメラ側のLAN端子と「コネクタ」接続してロックします。
4. 「パッキン」を「コネクタ」に押し込み「キャップ」を締め込んで完成です。



取付動画

電源端子の絶縁

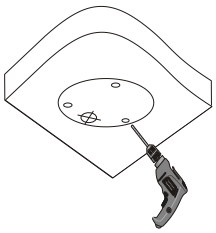
付属の「端子キャップ」を電源端子に取り付けます。



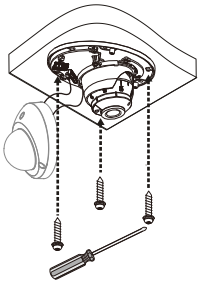
取付方法

直接取付

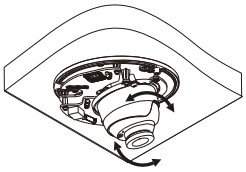
❶ 設置位置シールを貼り付け、ビス用の下穴、配線用の穴を開けます。（シールの形状は機種によって異なる場合があります。）付属のアンカーを利用する場合は、ビス位置にφ6~6.5mmほどの下穴を開けてください。



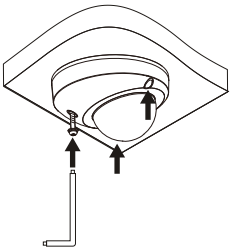
❷ ドームカバーを開け、カメラを天井に固定します。



❸ カメラを固定したら、向きを調整して監視方向を決めます。



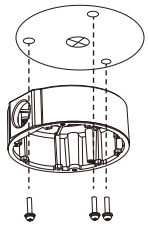
❹ ドームカバーを閉じ、専用レンチでネジを締めます。



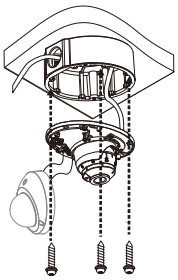
ジャンクションボックスを使用する場合

❶ 設置位置シールを貼り付け、ビスの位置に穴を開けます。ジャンクションボックスを開けボックス壁面に固定します。

取付けはカメラの「直接取付」と同じ方法で行ってください。ボックスの側面には市販のPFコネクタが接続可能です。

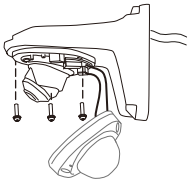


❷ 配線を接続し、ボックス内にケーブルを収納してカメラとボックスを付属のネジで固定します。

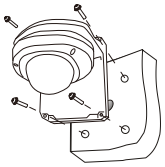


壁面取付をする場合

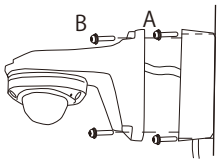
❶ 壁面取付ブラケットにケーブルを通し、カメラをネジで固定します。



❷ 設置位置シールをもとに壁面にビス用の下穴と配線用の穴を開け、ネジで壁面に固定します。

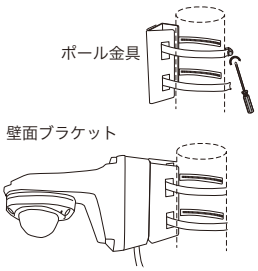


❸ ジャンクションボックスを利用する場合は、先にジャンクションボックスを壁面に固定し(A)、ボックスに対して壁面取付ブラケットを取付けます(B)。



ポール取付をする場合

ポール取付けの場合は、ポール金具に壁面取付ブラケットを取り付けます。



カメラの設定を変更するには?

パソコンからブラウザ経由でカメラにアクセスして行う方法と専用レコーダーから行う方法があります。
本書ではブラウザ経由でのアクセス方法を説明します。レコーダー経由で設定を行いたい場合はレコーダーのマニュアルをご参照ください。

❶ 専用アプリ「EZTools」を起動して対象カメラのIPアドレスを確認します。

❷ ブラウザ（Chrome推奨）を起動しアドレスバーにカメラのIPアドレスを入力してアクセスします。

❸ ログイン画面が表示されたらユーザー名(admin)と初期パスワード(123456)を入力しログインします。ログイン完了後はカメラの設定が自由に変更可能です。

初期パスワードの変更（必須）

初回ログインの際に初期パスワードを変更する必要があります。
指定された条件（半角/全角/記号/桁数など）に適合するパスワードに変更してください。

カメラのIPアドレスを変更するには?

ルーターの存在するネットワーク(LAN)上にカメラを設置した場合、DHCPによってカメラのIPアドレスが自動で付与されます。「現在のIPアドレスを確認をしたい」または「任意でIPを設定したい」場合は専用アプリ「EZTools」を使用すると簡単に行えます。